

貨幣ヲ鑄造シ又其鑄造ノ金銀貨幣
ヲ故ラニ内國ニ輸入シタル者ハ重懲役ニ
處ス

前項ノ貨幣ヲ変造シ又ハ鑄造変造ノ
貨幣ヲ内國ニ輸入シ又ハ之ヲ使用シタ
ル者ハ輕懲役ニ處ス

第六條 政府ヨリ發行シタル当然通用ノ
紙幣又ハ政府ノ許可ヲ得テ發行スル所

ノ公ケノ銀行紙券ヲ鑄造若クハ變造シ
又ハ内國ニ輸入シ又ハ故ラニ之ヲ使用
シタル者ハ第一條第二條ニ記載シタル
區別ニ從ヒ其刑ニ處ス

内國ニ於テ便宜通用スル所ノ外國ノ
紙幣又ハ銀行紙券ヲ鑄造若クハ變
造シ又ハ輸入シ又ハ之ヲ使用シタル
者ハ第五條ニ記載シタル例ニ照シテ

必断ス

第七條 内國外國ノ貨幣又ハ貨幣ト見做
 スヘキ紙幣ヲ贋造若クハ変造又ハ輸
 入シタル正犯附従未タ之ヲ使行セス
 又ハ公訴ノ初マラサル前官署ニ自首
 シ自カラ捕ニ就キ又ハ既ニ公訴ノ初
 マリニ後ト虽モ其重立タル正犯附従
 ヲ捕獲スルヲ助ケ且ツ贋造変造ノ

貨幣ヲ差押ヘル助ケヲ為シタル者ハ本
 刑ヲ免ス但シ五年ヨリ十年ニ至ル時
 間警察官ノ監視ニ附ス

第八條 贋造又ハ変造タルヲ知ラス
 内國外國ノ金銀貨幣又ハ貨幣ニ代
 用スル紙幣ヲ受ケ贋造変造タルヲ
 知ルノ後之ヲ使用シタル者ハ使用
 シタル貨額ノ二倍ニ等シキ罰金ニ

刑法

処ス但シ此罰金ハ二円ヨリ下ルヲ
得ス

本条ノ罪ノ仕損及ヒ中止ハ法例ニ照シ
テ処断ス

第九条 贋造変造ノ貨幣紙幣並ニ
贋造変造ニ供用シタル器機ハ何人
ノ所有タルヲ恊ハス皆之ヲ没収
ス

第十條 贋造変造ノ貨幣紙幣ト交
換シタル金額物件若シ返還スヘキ
被害者ノ知レサル時モ亦同シ

第五章 公ノ信用ヲ害スル重罪軽罪

第一節 貨幣贋造ノ罪

第一條 内国ニ於テ當然通用スル所ノ内
国又ハ外国ノ金銀貨幣ヲ贋造シテ使
行シタル者ハ重徒刑ニ処ス

第二條 前条ニ記載シタル内外国ノ貨幣
ヲ変造シテ銖銖ヲ減シ又價額ヲ増シ
テ使行シタル者ハ輕懲役ニ処ス

第三條 内国ニ於テ当然通用スル所ノ
 モノニ非サル外国ノ金銀貨幣ヲ贋造
 シテ使行シタル者ハ重懲役ニ処ス
 前項ノ貨幣ヲ変造シテ使行シタル者ハ
 二年ヨリ五年ニ至ル重禁錮二十四ヨリ
 五十四ニ至ル罰金ニ処ス

第四條 前數條ニ記載シタル贋造変造
 ノ貨幣ヲ故ラニ内国ニ輸入シテ使行シタ

ル者贋造変造ノ犯人ト同レク處断ス

第五條 当然通用ノ貨幣贋造及ヒ其輸
 入ニ現ニ與ミセスト雖モ贋造ノ貨幣タル
 丁ヲ知リ故ラニ之ヲ使行シタル者ハ重
 懲役ニ處ス

其変造シタル貨幣ニ係ル時ハ二年ヨリ
 五年ニ至ル重禁錮二十四ヨリ五十四ニ至
 ル罰金ニ處ス

第六條 内國又ハ外國政府ヨリ發行シタル
 当然通用ノ紙幣又ハ政府ノ許可ヲ得テ
 發行スル貨幣ニ代用スル所ノ内外國ノ
 公ケノ銀行紙券モ亦前五ヶ條ニ記載シ
 タル重罪輕罪ノ區別ニ從ヒ其刑ニ處ス
 第七條 内國ニ於テ当然通用スル所ノ銅
 貨ヲ贋造シ又ハ外國ニ於テ贋造シタ
 レ銅貨ヲ内國ニ輸入シテ使行シタル者

ハ輕懲役ニ處ス

銅貨ヲ贋造シ又其銅貨ヲ内國ニ輸入ス
 ルニ現ニ興セスト雖モ其贋造ノ銅貨
 タルヲ知リ故ラニ之ヲ内國ニ於テ使用
 シタル者ハ一年ヨリ四年ニ至ル重禁錮
 十圓ヨリ四十圓ニ至ル罰金ニ處ス

第八條 贋造變造又其貨幣ヲ内國ニ
 輸入シテ使行シ巴レノ意外ノ景況ニ

依リ遂ケサル者ハ前第一条第二条第

三条第四条第六条第七条ニ記載シタ

ル刑ニ各一等ヲ減ス（一等又ハ二等ヲ減スト
ナシ次ノ項ヲ刑ヲ知何）

若シ使行セントシテ遂ケサル者ハ二等

ヲ減ス

貨幣及ヒ紙幣紙券ヲ贋造スル為メ

鋸形及ヒ其他ノ器械ヲ製造シタル者

ハ贋造ノ設備トナシ三等ヲ減ス

第九條 第五条ニ記載シタル贋造及ヒ

変造ノ金銀貨幣タル丁ヲ知り使行セ

ントシテ遂ケサル者ハ本罪ニ一等又ハ

二等ヲ減ス第六条ニ記載シタル贋造変

造ノ紙幣及ヒ紙券ヲ使行セントシテ遂

ケサル者モ亦同シ

第七條ノ二項ニ記載シタル贋造ノ銅貨ヲ

使行セントシテ遂ケサル者ハ三月ヨリ二

年ニ至ル重禁銅二円ヨリ十円ニ至ル罰金ニ処ス

第十條 貨幣紙幣ノ贋造変造ニ与ミス

ト雖モ其使行ニ与ミセサル者ハ第一条茅

二条茅三条茅六条茅七条ニ記載シタ

ル刑ニ各一等ヲ減ス

第十一條 貨幣紙幣ヲ贋造又ハ変造スル

為ノ其場所ヲ給与シタル者ハ前条ニ記

載シタル贋造変造ニ與シタル者ノ刑ニ一

等ヲ減ス

△ 第十二條 前數條ニ記載シタル者ヲ除クノ

外此一節ニ記載シタル輕重罪ノ附從ハ各

本條ニ照レ本犯ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第十三條 内國外國ノ貨幣又ハ紙幣ヲ贋

造若クハ変造又ハ輸入シタル正犯附從

未タ之ヲ使行セズ又ハ公訥ノ初マラサ

ル前光ニ官署ニ自首シ自カラ捕ニ就キ
又ハ既ニ公訴ノ初マリレ後ト虽モ其重
立タル正犯附従ヲ捕獲スルヲ助ケ且ツ贋
造変造ノ貨幣ヲ押任スル助ケヲ為レタ
ル者ハ本刑ヲ負ス但レ五年ヨリ十年ニ
至ル時間警察官ノ監視ニ付ス

第十四條 贋造又ハ変造タルヲ知ラス内

国外國ノ金銀貨幣又ハ貨幣ニ代用ス

ル紙幣ヲ受ケ贋造変造タルヲ知ルノ
彼之ヲ使用シタル者ハ使用シタル貨額
ノ二倍ニ等シキ罰金ニ処ス但レ此罰金
ハ二回ヨリ下ルヲ得ス

本条ノ罪ノ仕損及ヒ中共法例ニ照シ
テ処断ス

第十五條 贋造変造ノ貨幣紙幣並ニ贋
造変造ニ供用シタル器械ハ何人ノ所

有タルヲ問ハス皆之ヲ没収ス

贋造変造ノ貨幣紙幣ト交換シタル金

額物件若シ返還ス、キ被害者ノ知レ

サル時モ亦同シ

第五章 公ノ信用ヲ害スル重罪輕罪

第一節 貨幣贋造ノ罪

第一條 内國ニ於テ当然通用スル所ノ内

國又ハ外國ノ金銀貨幣ヲ贋造レテ使

行レタル者ハ重徒刑ニ處ス

第二條 前條ニ記載レタル内外國ノ貨幣

ヲ変造レテ銖銖ヲ減レ又價額ヲ増シ

テ使行レタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三條 内國ニ於テ当然通用スル所ノ
 モノニ非サレ外國ノ金銀貨幣ヲ偽造
 シテ使行シタル者ハ重懲役ニ處ス
 前項ノ貨幣ヲ変造シテ使行シタル者ハ
 二年ヨリ五年ニ至ル重禁錮二十回ヨリ
 五十回ニ至ル罰金ニ處ス

第四條 前數條ニ記載シタル偽造変造
 ノ貨幣ヲ故ラニ内國ニ輸入シテ使行シタ
 ル者偽造変造ノ犯人ト同シク處斷ス

第五條 内國又ハ外國政府ヨリ発行シタ
 ル紙幣又ハ政府ノ許可ヲ得テ発行スル
 貨幣ニ代用スル所ノ内外國ノ公ケノ銀
 行紙券モ亦前四ケ條ニ記載シタル區別
 ニ從ヒ其刑ニ處ス

第六條 内國ニ於テ当然通用スル所ノ銅
 貨ヲ偽造シ又ハ外國ニ於テ偽造シタル

銅貨ヲ内國ニ輸入シテ使行シタル者ハ
輕懲役ニ處ス

第七條 貨造変造又其貨幣ヲ内國ニ輸入
シテ使行レ已レノ意外ノ景況ニ依リ遂
ケサレ者ハ前六條ニ記載シタル刑ニ各
一等ヲ減ス

若シ貨造変造又ハ輸入ヲ為サシメント
シテ遂ケサレ者ハ各二等ヲ減ス

貨幣及ヒ紙幣紙券ヲ贋造スル為メ鋸形
及ヒ其他ノ器械ヲ製造シタル者ハ贋造
ノ設備トナシ三等ヲ減ス

第八條 貨幣紙幣ノ贋造変造ニ現ニ与ミ
スト雖モ止タ職工ノ名義ノミナル時ハ
前條ノ區別ニ從ヒ輕減シテ処断ス

贋造変造ヲ為ス所ノ職工ノ補助ノミヲ
為シタル者ハ六月ヨリ四年ニ至ル重禁

銅五円ヨリ四十円ニ至ル罰金ニ處ス

第九條 貨幣紙幣ヲ贋造又ハ改造スル為

メ其場所ヲ給与シタル者ハ前第七條ニ

記載シタル區別ニ從ヒ其刑ニ右一等ヲ

減ス

第十條 当然通用ノ金銀貨幣紙幣ノ贋造

及ヒ其輸入ニ現ニ与ミセスト虽モ贋造

タルコトヲ知リ故ラニ之ヲ使行シタル者

ハ重懲役ニ處ス

其改造シタル金銀貨幣紙幣并ニ当然通

用スル所ノモノニ非スシテ贋造シタル

外國ノ金銀貨幣紙幣ニ係ル時ハ二年ヨ

リ五年ニ至ル重禁錮二十円ヨリ五十円

ニ至ル罰金ニ處ス

其贋造シタル銅貨并ニ当然通用スル所

ノモノニ非スシテ改造シタル外國ノ金

銀貨幣紙幣ニ係ル時ハ一年ヨリ四年ニ
至ル重禁錮十回ヨリ四十回ニ至ル罰金
ニ処ス

第十一条 前条ニ記載シタル贋造及ヒ変
造ノ金銀貨幣紙幣又ハ銅貨タル丁ヲ知
リ使行セントシテ遂ケサル者ハ各本罪
ニ一等又ハ二等ヲ減ス

第十二条 内國外國ノ貨幣又ハ紙幣ヲ贋

造若クハ変造又ハ輸入シタル正犯附従
未タ之ヲ使行ヤス且ツ公訴ノ初マラサ
ル前光ニ官署ニ自首シ自カラ捕ニ就キ
又ハ既ニ公訴ノ初マリシ後ト重モ其重
立タル正犯附従ヲ捕獲スルヲ助ケ且ツ
贋造変造ノ貨幣ヲ押住スル助ケヲ為シ
タル者ハ本刑ヲ負ス但シ五年ヨリ十年
ニ至ル時間警察官ノ監視ニ附ス

第十三条 贋造又ハ変造タルヲ知ラス内
 國外國ノ金銀貨幣又ハ貨幣ニ代用スル
 紙幣ヲ受ケ贋造変造タルヲ知ルノ役之
 ヲ使用シタル者ハ使用シタル貨額ノ二
 倍ニ等シキ罰金ニ處ス但シ此罰金ハ二
 円ヨリ下ルヲ得ス
 本条ノ罪ノ仕損及ビ中止ハ法例ニ照シ
 テ処断ス

第十四条 贋造変造ノ貨幣紙幣並ニ贋造
 変造ニ供用シタル器械ハ何人ノ所有タ
 ルヲ問ハス皆之ヲ没収ス
 贋造変造ノ貨幣紙幣ト交換シタル金額
 物件若シ返還スヘキ被害者ノ知レサル
 時モ亦同シ

第二節 國璽官印記号ノ贋造及ク

使用ノ罪ニ使ケル

第一條 國璽及ク院省使府縣ノ印ヲ贋造シ

タル者ハ重徒^刑ニ處ス

ヲ贋造シタル者ハ重徒ニ處ス

廳 吏 判 官

凡シテ官印ヲ贋造シテ用シタルハ

重徒

前項ニ記載シタル贋造ノ國璽及ク官印ヲ

内國ニ携帶シタル者モ亦同

第二條 贋造ノ國璽及ク官印ナルヲ知ル故

ニ官ノ文書ニ押シ又ハ之ヲ使用シタル者

削除シタル印紙ナルヲ知リ故ニ之ヲ用
ヒタル者ハ五圓ヨリ二十五圓ニ至ル罰金
ニ處ス

第六條 不正ノ所為ヲ以テ官印及ヒ官署ノ
印ヲ得之ヲ官ノ權利及ヒ公ノ利益ヲ害ス
ハキ方法ニ用ヒタル者若シ院省使府縣ニ
屬スル印ニ係ル時ハ二年ヨリ五年ニ至ル
重禁錮二十四ヨリ百圓ニ至ル罰金ニ處ス

其他ノ官印及ヒ印ニ係ル時ハ六月ヨリ二
年ニ至ル重禁錮十圓ヨリ五十圓ニ至ル罰
金ニ處ス

第七條 既ニ押シタル官印及ヒ記号ヲ他ノ
文書ニ移シ用ヒタル者モ前數条ニ記載シ
タル區別ニ從ヒ同刑ニ處ス

第八條 不正ノ所為ヲ以テ封印ヲ為シ記号
及ヒ印ヲ押シタル文書又ハ物件ヲ故ラニ

刑法

公益ヲ害スル為メニ使用シタル者ハ贋造
ノ記号等ヲ押シタル者ト同シク論ス

第九條 此一節ニ記載シタル輕罪ノ仕損及
ト中止ハ法例ニ照シテ處断ス

第十條 官印及ク印記号ヲ贋造シ又ハ携帶
シタル者自首シテ前一節第七條ニ記載シ
タルノ方法ニ適フ時ハ本罪ヲ免レ五年ヨ
リ十年ニ至ル時間警察官ノ監視ニ附ス

第十一條 前一節第九條ニ從ヒ特別ノ没収
ヲ宣告ス^シ贋造ノ印ヲ押シタル文書及ヒ其
他ノ物件モ亦没収ス

第三節 國玺官印記号極印ノ贋造

及ヒ不正使用ノ衆

第一條 國璽ヲ贋造シテ不正ニ使用シ

タル者ハ重徒刑ニ處ス

院者使廳府縣各裁判所ノ印ヲ贋造
シテ不正ニ使用シタル者ハ輕徒刑ニ

處ス

其餘文書及ヒ産物商品ニ押スヘキ官

署ノ印記號極印ヲ贋造シテ不正ニ
使用シタル者ハ重懲役ニ処ス

第二條 官ヨリ発行スル所ノ各種ノ印
紙及ヒ郵便切手其他罰紙ヲ贋造シ
テ使行シタル者ハ輕懲役ニ処ス

第三條 前二條ニ記載シタル国玺官印
記号極印及ヒ各種ノ印紙郵便切手罰
紙ヲ贋造シテ未タ使用セサル者ハ各

一 等ヲ減ス

贋造ニ與セスト 虽モ其贋造タル丁ヲ

知リ故ラニ之ヲ官私ノ文書ニ押シ不

正ニ使用シタル者モ亦同シ

贋造及ヒ其印ヲ押ス丁ニ與セスト 虽

モ他人ノ既ニ押シタル文書ヲ不正ニ

使用シタル者ハ二等ヲ減ス

第四條 既ニ使用シタル所ノ各種ノ印

紙及ヒ郵便切手ヲ故ラニ再用シタル者ハ五円ヨリ五十円ニ至ル罰金ニ處ス

第五條 不正ノ行為ヲ以テ真正ノ國璽官印及ヒ記号極印ヲ得之ヲ不正ニ使用シタル者ハ第三條第二項ニ從ヒ他人ノ贋造シタル印ヲ押用シタル者ト同レク處断ス

既ニ押シタル國璽官印及ヒ記号極印ヲ他ノ文書物件ニ移シテ用ヒタル者モ亦同シ

他人不正ノ所為ヲ以テ國璽官印及ヒ記号極印ヲ押シタル者ハ其不正ノ所為ヲ以テ使用シタル者ハ其不正ノ所為ヲ以

テ押ス所ノ者ニ一等ヲ減ス

第六條 國璽官印記号極印及ヒ各種ノ

法律

印紙郵便切手罰紙ヲ贋造シタル者
自首シテ前第一節第十二条ニ記載
シタル所ノ方法ニ適フタル者ハ本罪
ヲ免シ五年ヨリ十年ニ至ル時間警
察官ノ監視ニ附ス

第三節 官ノ書類公正ノ書類ヲ偽

造スル罪

第一條 官吏（又ハ裁判所附屬ノ官吏）其
職務（又ハ職掌）ニ官スル書類又ハ簿冊ヲ
誌スルニ當リ故ラニ官私ノ利益ヲ害
スルノ意ニテ日附又ハ誌スヘキ事實
及ヒ模様ヲ變シ又ハ真正ノ事ヲ不正ニ
誌シ又ハ真正ノ事ヲ誌サスレテ文書ヲ

偽造〔變造〕シタル者ハ輕徒刑ニ處ス

第二條官吏〔又ハ裁判所附屬ノ官吏〔書

類ヲ記スルニ當リ又ハ記シ了リタル後

官私ノ利益ヲ害スルノ意ニテ其書類

ニ贋造ノ官私ノ印ヲ押シ又ハ偽リノ

姓名ヲ記入シ又ハ真正ヲ印及ヒ姓名

ヲ除キ又ハ文書ノ日附又ハ其他ノ部分

ヲ變シテ偽造ノ罪ヲ犯シタル者モ亦

同シ

第三條 偽造變造シタル文書ヲ未タ使用

セサル前ニ發覺シ又ハ犯人ノ意外ノ景

況ニ依リ使用シ能ハサル時ハ一等ヲ減

ス

第四條 官吏公ケノ書類ヲ記スルニ當リ

常人故ラニ管涉シテ他人ノ害トナル

ハキ不實ノ事ヲ陳述シタル者ハ重懲

彼ニ処ス

若シ書類ヲ記シ了リタル後他人ヲ害ス
ルノ意ニテ第二条ニ記載シタル法方ノ
一ヲ用ヒ其書類ヲ変セシメタル者モ亦

同シ

第五条 已レノ意外景況ニ依リ偽造ノ

書類ヲ使用シ能ハサル者ハ一等ヲ減

ス

第六条 書類ノ偽造ニ與ミセスト虽モ故ラ

ニ官私ヲ害スルノ意ニテ其偽造シタ

ル書類ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ処ス

若シ官吏(又ハ裁判所附属ノ官吏)職務

ヲ行フニ當リ故ラニ其偽造書類ヲ使用

シタル時ハ重懲役ニ処ス

第七条 此一節ニ記載シタル刑ハ第五節

ニ掲ケタル往來手形証券^{セルキヤ} 路券其他

文書ヲ偽造シタル者ニ通シ用フベカラ
ス

第三節 官ノ書類公正ノ書類ヲ偽造

スル派

第一條 官吏又ハ官署ヨリ出テタルモノト

シテ書類ヲ贋造シ不正ニ使用シタル者
ハ輕懲役ニ處ス

真正ノ官ノ書類ノ條件及ヒ日附姓名
ヲ變シテ不正ニ使用シタル者モ亦同

シ

第ニ條

官ノ書類ヲ贋造及ヒ変造シテ未タ使
用セサル者ハ減シテ輕罪トナシ二年
ヨリ五年ニ至ル重禁錮二十四ヨリ五十
四ニ至ル罰金ニ処ス

第ニ條 贋造變造ニ与セスト雖モ其唇
類ヲ不正ニ使用シタル者ハ前條第三項
ニ依テ処ス

第ニ條 官吏職務ニ屬スルヲニシテ官私

ニ管スル事件ヲ記スハキ書類ノ本書
ヲ記スルニ當リ故ラニ事實日附及ヒ
姓名ヲ変レ又ハ眞心ノ事ヲ不正ニ記
シ又ハ眞正ノ事ヲ記サスレテ書類ヲ
贋造シ不正ニ使用シタル者ハ重懲
役ニ処ス其贋造シタル書類ヲ未ダ使
用セサル時ハ輕懲役ニ處ス
既ニ記シタル正当ノ書類ノ條件ヲ削

刑罰

除増補変更シタル時ハ使用シタルト
否トヲ別チ前項ノ刑ニ處ス

第四條 官吏書類ノ贋造変造ニ與セ
スト虽モ其書類ヲ職務ヲ行フニ当
リ不心ニ使用シタル者ハ輕懲役ニ
處ス

第五條 官吏ノ書類ヲ贋造変造スル
ニ與セサル所ノ者其書類ヲ不正ニ使

用シタル時ハ第二條ニ照シテ處断ス

第六條 ^五此一節ニ記載シタル輕罪ノ未遂
犯罪ハ法例ニ照シテ處断ス

第七條 ^六前數條ニ記載シタル犯人贋造
及ヒ真正ノ國璽官印等ヲ不正ニ使
用シタル罪重キ時ハ重キニ從テ處断
ス

第四節 商法民法ニ管スル私書偽

造ノ罪

第一條 為替手形。拂手形。ヒールエタカンドン。

セツク其他裏書ヲ用ヒ又ハ裏書ヲ用ヒ

ス讓典ニ得ヘキ義務ノ証券ヲ偽造シタ

ル者ハ重懲役ニ処ス

本条ニ記載スル偽造ノ罪トハ他人ヲ害

スルノ意ニテ一個又ハ數個ノ姓名ヲ偽

造シ又ハ日附金額其他ノ條件ヲ削去
増補変造シタム者ヲ謂フ

第二条 犯人意外ノ景況ニ依リ偽造ノ
書類ヲ使用シ能ハサム者ハ一等ヲ減
ス

第三条 前條ニ記載シタム書類ノ偽造ニ
與セスト虽モ他人ヲ害スルノ意ニテ使
用シタム者ハ輕懲役ニ処ス

第四条 前第一条ニ記載シタム以外ノ民
事商事ニ管スル私書ヲ第一条ノ二項
ニ記載シタム目的ト其法方ノ一個ト
ヲ以テ偽造シタム者ハ輕懲役ニ処ス

第五条 偽造ノ書類ヲ使用シ能ハサム
者並ニ偽造ニ與セスト虽モ他人ヲ害ス
ルノ意ニテ使用シタム者ハ二年ヨリ五
年ニ至ル重禁錮並ニ

罰金ニ処ス

第四節

(商法民法ニ管スル) 私書

贋造ノ罪

第一条 為替手形其他裏書ヲ用テ譲与セ
又ハ何人ニ限ラス拂渡ヲ為スルヲ得ヘ
キ高用手形ヲ贋造ニタル者ハ輕懲役ニ
處ス

真正ノ為替手形又ハ高用手形ニ記載ニ
タル場所日付姓名金額及ヒ其他ノ条件

ヲ変更シタル者モ亦同シ

贋造変造シタル手形ヲ未タ使命セサル

者ハ輕罪トナシ二年ヨリ五年ニ至ル重

禁錮二十回ヨリ五十回ニ至ル罰金ニ處

ス

第二條 第一條ニ記載シタル以外ノ高事

民事ニ管スル私書ヲ前條ニ記載シタル

方法ノ一ヲ以テ贋造及ヒ變造シテ不正

ニ使用シタル者ハ二年ヨリ五年ニ至ル

重禁錮二十回ヨリ五十回ニ至ル罰金ニ

処ス

若シ贋造變造シテ未タ使用セサル者ハ

六月ヨリ二年ニ至ル重禁錮五回ヨリ二

十回ニ至ル罰金ニ処ス

第三條 贋造變造ニ供セスト由モ他人ヲ

害スル為メ其書類ヲ使用シタル者ハ左

ノ件々ニ照シテ處断ス

一其書類裏書ヲ用ヒ讓典シ得ヘキ手形

又ハ高用手形ナル時ハ二年ヨリ五年

ニ至ル重禁錮二十四ヨリ五十円ニ至

ル罰金ニ處ス

二其他ノ私書ニ属スル時ハ六月ヨリ二

年ニ至ル重禁錮五円ヨリ二十円ニ至

ル罰金ニ處ス

第四条 此一節ニ記載シタル輕罪ノ未遂

犯罪ハ法例ニ照シテ處断ス

第四節 〔商法民法ニ管スル〕私書

贋造ノ罪

第一條 爲替手形其他裏書ヲ用テ讓與シ又
ハ何人ニ限ラス拂渡ヲ爲ス丁ヲ得ヘキ商
用手形ヲ贋造シタル者ハ輕懲役ニ處ス
真正ノ爲替手形又ハ商用手形ニ記載レタ
ル場所日付姓名金額及ヒ其他ノ條件ヲ變
更シタル者モ亦同シ

第二條 其他讓與義務金額又ハ物件ノ釋放
 証書ニ管スル商事民事ノ書類ヲ前条ニ記
 載シタル方法ノ一ヲ以テ贋造及ク變造シ
 テ不正ニ使用シタル者ハ一年ヨリ五年ニ
 至ル重禁錮十圓ヨリ五十圓ニ至ル罰金ニ
 處ス

第三條 前二條ニ記載シタル以外ノ私書ヲ
 贋造變造シタル者ハ一月ヨリ一年ニ至ル

重禁錮二圓ヨリ十圓ニ至ル罰金ニ處ス

第四條 前三條ニ記載シタル書類ヲ贋造及
 造レテ亦々不正ニ使用セサル者ハ各本刑
 ニ一等ヲ減ス

其贋造變造ニ與ヒセスト雖モ情ヲ知テ其
 証書ヲ不正ニ使用シタル者モ亦同シ

第五條 此一節ニ記載シタル輕罪ノ未遂犯
 罪ハ法例ニ照シテ處断ス

第五節 往來手形、免狀、請合狀ヲ

價造スル罪

第一条 往來手形、免狀、請合狀

其他權利 ヲ行フニ必要ナル官

署ノ書類ヲ贋造シテ不正ニ使用シ

タル者ハ三月ヨリ二年ニ至ル重禁

錮並ニ四円ヨリ四十円ニ至ル罰金ニ

処ス

但シ官印ヲ贋造シ又ハ真正ノ官印
ヲ不正ニ得テ押シタル罪ノ重キ時ハ
重キニ從テ処断ス

前項ニ記載シタル真正ノ手形免状
ヲ変造シテ使用シタル者モ亦同
シ

第二条 偽姓名ヲ陳述シ又ハ身分ヲ
詐称シ官ヨリ往來切手獵免状其

他ノ免状ヲ受取リタル者ハ二月ヨリ
一年ニ至ル重禁錮二回ヨリ二十四ニ
至ル罰金ニ処ス

偽姓名及ビ身分ヲ詐称スルヲ知
リ故ラニ其証人ト為リタル者モ
亦同シ

第三条 前一条二条ニ記載シタル贋
造変造又ハ詐偽ノ陳述ヲ為シタ

ル者其不正ノ所為ヲ以テ得タル免
状ヲ未タ使用セサル時ハ各本罪ニ
一等ヲ減ス

其實造ニ與セスト虽モ之ヲ不正ニ
使用シタル者モ亦同シ

第四条 前数条ニ記載シタル免状ヲ
渡スノ任アル官吏法律規則ニ記載
シタル式ニ従ヒ其願人ノ姓名身分

ヲ証セシメスレテ之ヲ渡シタル時ハ
懈怠ノ罪アリトシテ十圓ヨリ五
十圓ニ至ル罰金ニ処ス

官吏通謀シテ免状ヲ渡シタル時ハ
六月ヨリ三年ニ至ル重禁錮二十圓
ヨリ百圓ニ至ル罰金ニ処ス

第五条 陸海ノ兵士又ハ警察官ノ
監視ニ附シタル者其他巡廻旅行ス

ルニ官署ノ監督ヲ受クヘキ者ニ渡
シタル路券(ナリハ通常ノ往來切手ト異
ナリ)ヲ贋造シタル者ハ前教条ニ記
載シタル者ニ等ヲ減ス

第六条 自カラ公役ヲ免カレ又他人
ヲシテ免カレシムル為メ内外科医
師ノ偽名ヲ用ヒ疾病ノ証書ヲ贋
造シテ之ヲ使用シタル者ハ三月ヨリ

三年ニ至ル重禁錮三四ヨリ三十四ニ
至ル罰金ニ処ス

未タ其贋造ノ証書ヲ使用セサル時
ハ二月ヨリ二年ニ至ル重禁錮二四ヨ
リ二十四ニ至ル罰金ニ処ス

若シ内外科ノ医師其証偽ノ証書ヲ
渡シタル時ハ前二項ニ記載シタル
刑ニ照シテ処断ス

第七條 元ト真正ナル証卷又ハ他人ニ
属スル証卷ヲ変造シタル者ハ証卷
贋造ト見做ス

第八條 贋造ノ証卷ヲ記スルニ与セス
ト虽モ之ヲ不正ニ使用シタル者ハ二
月ヨリ二年ニ至ル重禁錮二四ヨリ
二十四ニ至ル罰金ニ処ス

第九條 若シ公役ヲ免カルキノ証

書ニ使用シタル者ハ前條ノ刑ニ二
等ヲ加フ

公役ヲ免カレントスルノ目的ニテ自
カラ癡罵疾又ハ不具ニナリタル者
モ亦同シ

第十條 自己ノ為メ又他人ノ為メ官
署又ハ人民ヨリ利益及ヒ救助ヲ得
ル為メ官吏又ハ人民ノ名ヲ用ヒ才

能、行状及ヒ窮乏ノ証券ヲ贋造
シテ之ヲ使用シタル者ハ一月ヨリ
四月ニ至ル重禁錮四回ヨリ二十四
ニ至ル罰金ニ処ス

若シ官吏其職務ヲ行フニ当リ前
項ノ証券ヲ贋造シタル時ハ本刑ニ
二等ヲ加フ

本条ノ証券贋造ニモ第七条ヲ通シ

用フヘシ

第十一條 其贋造証券ヲ未タ使用
セサル者ハ一等ヲ減ス

其贋造變造ニ共スルコトナシト虽
モ之ヲ不正ニ使用シタル者モ亦
同シ

第十二條 以一節ニ記載シタル未遂
犯罪ハ法例ニ照シテ處断ス

総規則

第二節 三節 四節 五節ニ記載シ
 タル書類 証券ヲ贋造シテ 使用
 シタル者 不正ニ 會計局 又ハ 官署
 ヨリ 金額物件ヲ 得タル時ハ 其金
 額物件ノ 高ヨリ 多カラス 四分ノ一
 ヨリ 少カラサル 罰金ヲ 科ス
 但シ 罰金ヲ 科スト 虽モ 其金額物

件ノ 返還 倍償ノ 差支ヘト ナン ナ
 シ

各本条ニ 記載シタル 罰金ノ 高ノ 此
 規則ニ 記載スル 夾ノ 罰金ヨリ 輕キ
 時ハ 此罰金ニ 混同ス

第五節 往來手形、免狀、請合狀ヲ偽

造スル罪

第一條 往來手形、獵ノ免狀、滯留免狀其

他權利ヲ行フニ必要ナル官署ノ書類ヲ

官署又ハ官吏ヨリ出タル者トシ偽造

シテ不正ニ使用シタル者ハ一月ヨリ一

年ニ至ル重禁錮四圓ヨリ四十圓ニ至

ル罰金ニ處ス

第二條 姓名身分屬籍名義(官名職業等ヲ名謂)

ヲ詐稱シ官ヨリ往來手形獵免狀其他ノ免狀ヲ受取リタル者ハ十五日ヨリ六月ニ至ル重禁錮二圓ヨリ二十圓ニ至ル罰金ニ處ス

姓名及ヒ身分ヲ詐稱スルコトヲ知り故ラニ其証人ト為リタル者モ亦同シ

第三條 前數條ニ記載シタル免狀ヲ渡

スノ任アル官吏法律規則ニ記載シタル式ニ從ヒ其願人ノ姓名身分屬籍名義ヲ証セシメスレテ之ヲ渡シタル時ハ懈怠ノ罪アリトシテ五日ヨリ五十圓ニ至ル罰金ニ處ス

官吏通謀シテ免狀ヲ渡シタル時ハ三月ヨリ二年ニ至ル重禁錮十圓ヨリ百圓ニ至ル罰金ニ處ス

第四條 陸海ノ兵士又ハ警察官ノ監視
ニ附シタル者其他巡廻旅行スルニ官
署ノ監督ヲ受クヘキ者ニ渡シタル
路程ヲ定メタル路券ヲ偽造シタル者
ハ前數條ニ記載シタル者ニ一等ヲ減
ス

第五條 自カラ公役ヲ免カレ又他人ヲシ
テ免カレシムル為メ内外科ノ医師ノ
偽名ヲ用ヒ疾病ノ診察ヲ偽造シテ
自カラ之ヲ使用又ハ他人ヲシテ使用
セシメタル者ハ一月ヨリ一年ニ至ル
重禁錮三回ヨリ三十回ニ至ル罰金ニ
処ス

第六條 若シ内外科ノ医師其詐偽ノ
診察ヲ渡シタル時ハ一等ヲ加フ

第七條 若シ海陸軍ノ兵役ヲ免カルヘ

キノ証書ニ係ル時ハ前ニ条ニ記載シ
タル刑ニ等ヲ加フ

公役ヲ免カレントスルノ目的ニテ自
カラ癡罵疾又ハ不具ニナリタル者
モ亦同シ

第八條 自己ノ為ヲ又他人ノ為メ官署
又ハ人民ヨリ利益及ヒ救助ヲ得ル為メ
官吏又ハ人民ノ名ヲ用ヒ才能行狀

及ヒ窮乏ノ証券ヲ偽造シテ之ヲ不
正ニ使用シタル者ハ十一月ヨリ二月
ニ至ル重禁錮ニ四ヨリ十ヨリニ至ル罰
金ニ処ス

若シ官吏其職務ヲ行フニ當リ前項
ノ証券ヲ偽造シタル時ハ本刑ニ二等
ヲ加フ

第九條 真正ノ証書又ハ他人ニ屬スル

証書ノ條件ヲ変更シタル者ハ第一条
第四条第五条第七条ニ記載シタル
偽造ト同シク論ス

第十条 其偽造変造ノ証書ヲ未タ使
用セサル者ハ偽造正犯ノ刑ニ一等ヲ
減ス

第十一条 其偽造変造ニ与スルヲナシト
虽モ之ヲ不正ニ使用シタル者モ亦一等

ヲ減ス

第十二条 此一節ニ記載シタル未遂犯
眾ハ法例ニ照シテ処断ス

第六節 偽證及偽監定ノ罪

第一條 糾問若クハ公判ニ論テ刑事
裁判所ニ於テ證據ヲ陳述スル為メ
呼出サレシ者犯人ヲ曲庇スル為メ
故ラニ不実ノ事ヲ実トシ又誠実
ナルヲ謂ハス又誠実ナルヲ覆
フテ詐偽ノ陳述ヲ為シタル者ハ左
ノ例ニ照シテ處断ス

一 本犯違警罪ニ係ル時ハ十月十五日ヨリ

五月二ニ至ル重禁錮二圓ヨリ五圓十

ニ至ル罰金ニ處ス

二 本犯輕罪又ハ輕罪ノ刑ニ處スヘキ

重罪ニ係ル時ハ五月二ヨリ一年ニ

至ル重禁錮五圓ヨリ二十圓ニ至ル

罰金ニ處ス

三 本犯重罪ニ係ル時ハ六月ヨリ二年

ニ至ル重禁錮十圓ヨリ四十圓ニ至ル

罰金ニ處ス

第二條 他人ヲ害スル為メノ偽證ニ非ス

シテ配偶者尊屬卑屬兄弟姉妹伯

叔父姑姪ヲ曲庇スル為メ詐偽ノ陳

述ヲ為シタル者ハ前条ニ記載シタ

ル罪ニ二等ヲ減ス

第三條 犯人ヲ害スル為メ詐偽ノ陳

述ヲ為シタル者ハ第三編第八十四條
第八十五條ニ記載シタル誣告ノ例ニ
照シテ處断ス

若シ本犯確定ノ裁判ニ因テ誣告シタ
ル罪ヨリ一等重キ刑ニ處セラレタル時
ハ第八十八條ニ依テ處断ス

然レ凡死刑其他無期ノ刑ハ其偽証ニ
因リ本犯其刑ニ處セラレタルトテ知
リタル時ニ非レハ加害ノ偽証人ニ科ス
ハカラス

第四條 本犯ノ確定ノ裁判ヲ受ケサル
前偽証ノ事ヲ解訴スル時ハ加害偽
証及ヒ曲庇偽証ノ罪ヲ免ス

第五條 民事商事行政裁判ニ於テ偽証
ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ處断
ス

一 其事件控訴スヘキ者ナル時ハ二月
ヨリ六月ニ至ル重禁錮五箇ヨリ十五
箇ニ至ル罰金ニ處ス

二 其事件控訴スヘカラサル者ナル時
ハ前項ノ刑ニ二等ヲ加フ

第六條 裁判所ニ於テ監定通弁ヲ為
スヘキ為メ呼出サレシ者ニモ前條
ノ刑ヲ通用ス

第七條 若シ証人監定人ニ身賄ヲ贈リ
タル者モ亦偽証偽監定人ト同ク論
ス

三三三

第六節 偽証及ヒ偽鑑定ノ罪

第一條 糾問若クハ公判ニ論テク刑事

裁判所ニ於テ証拠ヲ陳述スル為メ呼

出サレシ者被告人ヲ曲庇スル為メ故

ラニ不實ノ事ヲ實トナシ又誠實ナル

トヲ謂ハス(又ハ其他ノ方法ヲ以テ)偽

証ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シテ処

断ス

刑法

一 本犯違警罪ニ係ル時ハ違警罪ノ
拘留罰金ニ處ス

二 本犯輕罪又ハ輕罪ノ刑ニ處スヘ
キ重罪ニ係ル時ハ二月ヨリ一年ニ
至ル重禁錮五回ヨリ二十回ニ至ル
罰金ニ處ス

三 本犯重罪ニ係ル時ハ四月ヨリ二年
ニ至ル重禁錮十回ヨリ四十回ニ至
ル罰金ニ處ス

第二條 他人ヲ害スル為メノ偽証ニ
非スレテ配偶者、尊屬卑屬、親兄
弟姉妹伯叔父姑及ヒ姪甥ヲ曲死ス
ル為メ偽証ヲ為レタル者ハ其罪
ヲ論セス

第三條 被告人ヲ害スル為メ偽証ヲ
為レタル者ハ左ノ例ニ照レテ處

断ス

一 偽証ノ件違警罪ニ係ル時ハ一月

ヨリ三月ニ至ル重禁錮二回ヨリ

十四ニ至ル罰金ニ處ス

二 其輕罪ニ係ル時ハ六月ヨリ二年

ニ至ル重禁錮十四ヨリ十四ニ

至ル罰金ニ處ス

三 其重罪ニ係ル時ハ二年ヨリ五年

ニ至ル重禁錮四十回ヨリ二百回ニ

至ル罰金處ス

第四条 被告人偽証ノ為メ前条ニ

記載シタル偽証ノ刑ヨリ重キ輕

重罪ノ刑ニ處セラレシ刑期満限ノ

後無罪ノ証發覺シタル時ハ偽証

人ヲ其受決ノ刑ニ反坐ス

然レトモ死刑ハ故ラニ被告人ヲ死

刑ニ陥ルノ目的ヲ以テ偽証ヲ為シ
タル証アルニ非レハ死刑ニ反坐ス
ルヲ得ス

但シ其証ナキ者ハ重徒刑ニ処ス

第五條 偽証ニ因リ処決ヲ経タル

モノ刑期中ニ無罪ノ証發覺シタル

時若シ其刑第三條ニ記載シタル

偽証ノ刑ヨリ重キ時ハ受決ノ刑ニ

反坐ス但シ其刑期ハ被告ハ受ケ
タル刑期ニ過ルコトヲ得ス

第六條 民事商事行政裁判ニ於テ

偽証ヲ為シタル者ハ左ノ例ニ照シ

テ処断ス

一 其控訴ヲ為シ得ヘキ事件ニ係ル

中ハ二月ヨリ六月ニ至ル重禁錮

五日ヨリ十五日ニ至ル罰金ニ処

ス

二 其控訴ヲ為スルヲ得サル事件ニ

係ルハ前項ノ刑ニ二ボヲ加フ

ノ七条 裁判所ニ於テ鑑定通弁ヲ為

スハキ為メ呼出サレシ者ニモ前数条

ノ刑ヲ通用ス

ノ八条 如何ナル事件ヲ問ハズ偽証ヲ

為シタル事、確定ノ裁判ヲ受ケザ

ル前解訴スル偽証人鑑定通弁者ハ

其罪ヲ免ス

前項ニ記載シタル者相當ノ時間控訴

裁判所ニ解訴ヲ為シタル時モ亦同

シ

第九条 若シ証人鑑定人ヲシテ偽証

偽鑑定ヲ為サシメタル者モ亦偽証

偽鑑定人ト同ク論ス

偽証偽監定ヲ為サシメントシテ成ラ
サル未遂犯眾ハ法例ニ照シテ処断
ス

第七節 尺度量衡ヲ贋造スルノ

眾

第一條 内國ニ於テ普ク使用スル所
ノ尺度量衡ヲ贋造シテ不正ノ所為
ヲ以テ得タル官署ノ記号極印ヲ押シ
又ハ真正ノ尺度量衡ヲ変造シテ
販賣シタル者ハ二年ヨリ五年ニ至
ル重禁錮十回ヨリ五十回ニ至ル罰金

ニ処ス

未タ贋造變造ノ尺度量衡ヲ販賣
セサル者ハ一等ヲ減ス

第二條 贋造變造ニ与セスト虽モ之
ヲ知テ販賣シタル者ハ前條ノ刑ニ
一等ヲ減ス

第三條 此一節ノ未遂犯眾ハ法例ニ
照シテ処ス

第四條 商人ニシテ贋造變造ノ尺度
量衡ヲ所有スル者ハ五圓ヨリ二十圓
ニ至ル罰金ニ處ス

但シ贋造變造ノ尺度量衡ヲ使用
シタル時ハ第三編第百二十九條ニ記
載シタル詐偽取財ノ例ニ依テ處断
ス

第五條 贋造變造ノ尺度量衡ハ何人

ノ處有スルヲ問ハス之ヲ没収破壊ス

第八節 官服記章身分賞牌ヲ

借用スル罪

第一條 官服及ヒ官ノ記章内外ノ賞

牌ヲ帶フルノ權ナキ者公然ト之ヲ帶

ヒタル時ハ一月ヨリ三月ニ至ル輕禁

錮五日ヨリ十五日ニ至ル罰金ニ處ス

第二條 官名又ハ尊稱ヲ有セサル者詎

稱シテ官ノ事務ヲ為シタル時ハ十一日

ヨリ一月ニ至ル輕禁錮二回ヨリ二十回ニ至ル罰金ニ處ス

第三條 前二條ニ記載シタル官服ヲ

借用シ又ハ官名尊稱ヲ詐稱シテ

人民ニ對シ枉害ヲ加ヘタル者ハ一

等ヲ加フ

因テ當然得ヘカラサル金銀物件ヲ

得タル者ハ第三編第二十七條ニ依

テ處斷ス

第九節 公撰ノ投票ヲ偽造スル

罪

第一條 投票ヲ計算レ又ハ検査ヲ為ス

任アル者故ラニ其票ヲ偽造レ又ハ

其數ヲ増減シタル者ハ公権剝奪並

ニ十圓ヨリ百圓ニ至ル罰金ニ處ス

第二條 官吏職務ヲ行フニ當リ前條

ニ記載シタル偽造ノ罪ヲ犯シタル者

ハ輕禁獄並ニ二十円ヨリ二百円ニ至
ル罰金ニ處ス

第三條 前二條ニ記載シタル以外ノ者
ノ犯スニ係ル時ハ三月ヨリ一年ニ至
ル輕禁錮五円ヨリ五十円ニ至ル罰金
ニ處ス

第七節 尺度量衡ヲ贋造スルノ罪

第一條 規則ヲ以テ定メタル所ノ尺度量衡
ヲ(増)減シ贋造又ハ変造シテ販賣シタル者
ハ二年ヨリ五年ニ至ル重禁錮十円ヨリ五
十円ニ至ル罰金ニ處ス
但シ官ノ極印記号ヲ贋造又ハ盗用シタル
時ハ重キニ從テ處断ス

第二條 贋造変造ノ尺度量衡ヲ未タ販賣セ

サル者ハ一等ヲ減ス

贋造変造ニ与セスト虽モ之ヲ知テ販賣シタル者モ亦同

第三條 此一節ノ未遂犯罪ハ法例ニ照シテ
処断ス

第四條 贋造変造ノ尺度量衡ナルヲ知テ
所有スル者ハ二円ヨリ二十円ニ至ル罰金
ニ処ス

但シ贋造変造ノ尺度量衡ヲ不正ニ使用シ
テ已レテ利シタル時ハ第三編第百二十九
條ニ記載シタル詐偽取財ノ例ニ依テ処断
ス

第八節 官服記章身分勲章ヲ僭用詐称

第一條 官服及ヒ官ノ記章内外用ノ勲章ヲ

帯フルノ權ナキ者公然ト之ヲ帯ビタル時

ハ十五日ヨリ二月ニ至ル程禁錮五回ヨリ

五十四ニ至ル罰金ニ処ス

第二條 官署ニ於テ文眷ヲ記スルニ當リ姓

名卿貫職業又ハ官名尊称ヲ詐称シタル者

ハ二十四ヨリ五十四ニ至ル罰金ニ処ス

第三条 前二条ニ記載シタル所為ヲカシ因テ當然得ヘカラサル金額物件ヲ得タル者ハ第三編第百二十九条ニ依テ処断ス

第九節 公撰ノ投票ヲ偽造スル罪

第一条 投票ヲ検査シ又ハ計算ヲ為ス任アル者故ラニ其票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ公權利奪並ニ十四ヨリ百四ニ至ル罰金ニ處ス

第二条 官吏職務ヲ行フニ當リ前条ニ記載シタル偽造ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕禁獄並ニ二十四ヨリ二百四ニ至ル罰金ニ處ス

第三條 前二條ニ記載シタル以外ノ者ノ犯
スニ係ル時ハ三月ヨリ一年ニ至ル輕禁錮
五円ヨリ五十円ニ至ル罰金ニ処ス

第六章 公ノ健康ヲ害スル輕重罪

第一條 阿片烟ヲ内國ニ輸入シテ販賣シメ
ル者ハ輕徒刑ニ處ス

故ラニ阿片烟ヲ輸入スル丁ヲ容易ナラシ
メタル運上所ノ官吏又ハ船長モ同刑ニ處
ス

第二條 内務省ノ許可ヲ得スレテ阿片烟ヲ
製造スルニ的當ナル
ヲ作りタル

者輕懲役ニ處ス

耕作人販賣スルヲ為メニ非スシテ阿片烟ヲ

製造シタル時ハ重懲役ニ處ス

若シ販賣シタル時ハ輕徒刑ニ處ス

第三条 阿片烟ヲ吸フ為メニ的當ナル器械

ヲ内國ニ輸入シ又ハ製造シテ販賣シタル

者ハ重懲役ニ處ス

第四条 阿片烟又ハ之ヲ吸フ為メニ的當ナ

ル器械ヲ輸入シ又ハ製造シテ販賣セサル

者ハ第一条第三条ニ記載シタル刑ニ各一

等ヲ減ス

阿片烟又ハ其器械ノ輸入又ハ製造ニ與セ

スト虽モ之ヲ内國ニ於テ販賣シタル者モ

亦同シ

第五條 阿片烟ヲ吸フ為メニ家屋ヲ給与シ

又ハ吸フ丁ヲ許シタル藥屋ノ主人其他人

民ノ會集スル場所ノ家長ハ輕懲役ニ處ス

第六條 公然ト阿片ヲ吸ヒ又ハ阿片ニ酔迷

シタル者ハ二年ヨリ五年ニ至ル重禁錮ニ

十四ヨリ五十圓ニ至ル罰金ニ處ス

前項ノ処刑ヲ受ケタル後一年內再ヒ犯シ

タル者ハ一等ヲ加重ス

第七條 阿片烟又ハ吸フ為メニ的當ナル器

械ヲ所有スル者ハ一月ヨリ一年ニ至ル重

禁錮ニ四ヨリ二十圓ニ至ル罰金ニ處ス

第八條 内國ノ港内ニ暫時碇泊中上陸シテ

阿片ヲ吸ヒ器械ヲ携帯シタル者ハ地方官

ヨリ本船ニ逐還ス其地方官又ハ船長ノ檢

査ヲ受クルニ非レハ再ヒ上陸スル丁ヲ聽

サス

碇泊中再ヒ犯シタル者ハ本船出帆ノ日ニ

至ル迄繫獄ス

第九條 此一節ニ記載シタル條々ハ内外科
醫師ノ使用スル為メニ製造スル所ノモノ
ニ及ボスヘカラス

第六章 公ノ健康ヲ害スル輕重罪

第一節 阿片烟ノ輸入及ヒ賣買使

用ノ罪

第一條 阿片烟ヲ内國ニ輸入シ又ハ製造シ

テ販賣シタル者ハ重徒刑ニ處ス

税関ノ官吏職務ヲ行フニ當リ故ラニ阿片

烟ノ輸入ヲ容易ナラシメタル者ハ賣買ニ

与ラスト虽モ前同刑ニ處ス

船舶ノ長又ハ運送受負人此罪ヲ犯シタル時ハ賣買ニ与セスト虽モ輕徒刑ニ処ス

第二條 阿片烟ヲ吸フ为メニ約当ナル器械ヲ内國ニ輸入シ又ハ製造シテ販賣シタル者ハ重懲役ニ處ス

第三條 阿片烟又ハ之ヲ吸フ为メニ約当ナル器械ヲ輸入シ又ハ製造シテ未タ販賣セサル者ハ前二條ニ記載シタル刑ニ各一等

ヲ減ス

阿片烟又ハ其器械ノ輸入又ハ製造ニ与セスト雖モ之ヲ内國ニ於テ販賣シタル者モ亦同シ

第四條 阿片烟ヲ所有スル者之ヲ人ニ與ヘ吸食セシメル時ハ輕懲役ニ處ス

此罪ヲ犯シタル者若シ製造者又ハ内國ニ輸入シタル者ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス

第五條 自己ノ利ヲ圖ル阿片烟ヲ吸フ為メ

ニ家屋ヲ給与シタル者ハ重懲役ニ處ス

此罪ヲ犯シタル者若シ製造者又ハ輸入者

ニ係ル時ハ輕徒刑ニ處ス

第六條 現ニ阿片ヲ吸食スル者又ハ阿片ニ

醉迷シタル者ハ二年ヨリ五年ニ至ル重

禁錮二十圓ヨリ五十圓ニ至ル罰金ニ處ス

第七條 阿片烟又ハ吸フ為メニ的當ナル器

械ヲ所有スル者ハ一月ヨリ一年ニ至ル重

禁錮二圓ヨリ二十圓ニ至ル罰金ニ處ス

第八條 内国ノ港内ニ一時碇泊中上陸シテ

阿片ヲ吸ヒ器械ヲ携帶シタル者ハ地方警

察官又ヨリ本船ニ送還ス其地方警察官吏

又ハ船長ノ検査ヲ受クルニ非レハ再ヒ上

陸スルコトヲ聽サス

若シ碇泊中再ヒ犯シタル者ハ本船出帆ノ

日ニ至ル迄繫獄ス

諸法

第五十一

第二節

水ヲ齎取セレハルノ罪

第一條 故ラニ害ヲ加フルノ意ニテ泉水

丹戸水涵メテ齎取セレメ未々人ヲ害

ヤスト蝨モ其水ヲ用フルコト能ハサ

ラレハルニ至ラレメタル者ハ十五日

ヨリ二月ニ至ル重禁錮二回ヨリ十

回ニ至ル罰金ニ處ス

若シ其水ヲ齎取セレハルニ人ノ健

刑法

康ヲ害スハキ物品ニ用ヒタル者ハ三月ヨリ一年ニ至ル重禁廻五回ヨリ二十回ニ至ル罰金ニ處ス

此未遂犯罪ハ法例ニ照シテ處斷ス

第二條 水ヲ腐敗セシメタルニ因リ一人若クハ數人二十日以下休業セシムルニ致シタル者ハ一年ヨリ五年ニ至ル重禁廻二十回ヨリ百回ニ至ル罰金ニ

第二條及ヒ
第三條ノ二項
ハ豫メ謀テ入
ラ政傷シ休
業廢篤疾
及ヒ死ニ致ラ
シメタル權衡
ニ依テ處斷ス
ルコトニ定テ如
何

処ス

二十日以上休業セシムルニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第三條 因テ一人若クハ數人ヲ死ニ致シ

タル時若シ其物品人ヲ死ニ致スヘキ性質ナルコトヲ知ラサル者ハ重懲役ニ處ス

人ヲ死ニ致スヘキ物品ナルコトヲ知ルト

虽モ人ヲ殺スノ意ナキ時ハ輕徒刑ニ
処ス

若シ人ヲ殺スノ意アル時ハ毒殺ヲ以
テ論ス

第六章

第二節 公ケノ渾水ヲ腐敗セシム

ルノ罪

第一条 故ラニ害ヲ加フルノ意シテ飲料ニ

供スル水道噴水井戸水溜メヲ腐敗セシメ

一日以上其水ヲ用フルト能ハサラシムル

ニ至ラシメタルモノハ未タ人ヲ害セスト

虽氏十五日ヨリ二月ニ至ル重禁錮二回ヨ

リ十四ニ至ル罰金ニ處ス

第二條 人ノ健康ヲ害スヘキ物品ヲ用ヒ水
質ヲ変シ又ハ腐敗セシメタル者ハ二月ヨ
リ一年ニ至ル重禁錮五回ヨリ二十回ニ至
ル罰金ニ処ス

第三條 前二條ニ記載シタル未遂犯罪ハ法
例ニ照シテ処断ス

第四條 水質ヲ変シ又ハ腐敗セシメタルニ
因リ一人若クハ数人病ヲ受ケシメ又ハ殺

スノ意ナクシテ死ニ致ラシメタル者ハ第
三編第十三條ノ例ニ照シテ重キニ從テ処
断ス

若シ殺スノ意アル時ハ毒殺トナシ既ニ遂
ケタルト未タ遂ケサルトヲ區別シテ処断
ス

第六章

第三節

傳染病豫防規則ニ背ク衆

第一條 傳染病ヲ豫防スル為メ其検査

ヲ受ケタル船舶ニ乗リ外国又ハ内国ノ

地方ヨリ着シタル者上陸又ハ物品商

品ノ陸揚ケヲ禁シタル規則ニ背キタ

ル時ハ二月ヨリ二年ニ至ル輕禁銅

二十四ヨリ百四ニ至ル罰金ニ処ス

懈怠ニヨリ規則ヲ背クニ致ラシメタ

ル船長ハ一等ヲ加重ス

此規則ヲ特別ニ監察スル官吏懈怠

ノ取アル時ハ輕懲後ニ処ス

第二條 獸類傳染病ノ流行スル際所

有者又ハ看守人牛馬其他大小ノ獸

類ノ傳染病ヲ受ケタルヲ視察シ

直チニ之ヲ地方警察官吏ニ申告

セサル時ハ十一月ヨリ二月ニ至ル輕

禁錮二回ヨリ二十回ニ至ル罰金ニ處

ス

第三條 地方官ヨリ傳染病ヲ豫防ス

ル規則ヲ布達シタル後病獸ノ所有

者又ハ看守人其獸類(他人ニ屬スル)

他ノ獸類ト雜處セシメ其他規則ニ

背キタル者ハ二月ヨリ六月ニ至ル

輕禁錮五回ヨリ五十回ニ至ル罰金

二 處 入

三 傳 染 病

第六 章

第三 節

傳 染 病 豫 防 規 則 二 背 負

罪

第一 條 傳 染 病 流 行 ノ 疑 ヒ ア ル 内 外 國

地 方 ヨ リ 入 港 シ タ ル 船 舶 上 陸 又 ハ 商

品 ノ 陸 揚 ヲ 一 時 禁 シ タ ル 規 則 二 背

キ タ ル 者 ハ 二 月 ヨ リ 二 年 二 至 ル 輕 禁

錮 二 十 日 ヨ リ 二 百 日 二 至 ル 罰 金 二 處

ス

司 法 省

第二條 船長士官自カラ此規則ニ背キ
又ハ懈怠ニヨリ管轄スル所ノ者ヲシテ
規則ヲ背クニ致ラシメタル時ハ各一
等ヲ加重ス

此規則ヲ特別ニ監察スル官吏懈怠
ノ罪アル時モ亦同シ

第三條 痘類傳染病ノ流行スル際
有者又ハ看守人牛馬其他大小ノ獸
類ノ傳染病ヲ受ケタルヲ視察シ直
チニ之ヲ地方警察官吏ニ申告セサル
時ハ十一月ヨリ二月ニ至ル輕禁錮二
月ヨリ二十日ニ至ル罰金ニ処ス

第四條 地方官ヨリ痘類ノ傳染病ヲ豫
防スル規則ヲ布達シタル後所
有者
看守人其規則ニ背キタル時ハ一月ヨ
リ六月ニ至ル輕禁錮五日ヨリ五十日

ニ至ル罰金ニ処ス

第五條 他人ニ属スル獸類ノ者守人規則ニ背キタル所為ヲ為シ又ハ規則ニ違フタルヲ為サシ時其所有者ノ命令ニ出テタル証ヲ立ル時ハ其罪ヲ論セズ余ヲ下シタル所有者ヲ前條ノ刑ニ処ス

第六章

第四節

害トナルハキ飲食物ヲ販

賣スル罪

第一條 健康ノ害トナルハキ物質ヲ

加ハ又ハ混合シタル飲食ニ供スル物品

ヲ販賣シタル者ハ買取スル者其混

合シタルヲ知ルト雖モ十五日ヨリ

三月ニ至ル重禁錮ニ四ヨリ二十ニ

至ル罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ本刑ノ外仍ホ其裁判宣告
ヲ地方新聞紙上ニ登記シ且其宣告
書貼出ス其費用ハ犯人ヲシテ之ヲ
償ハシム

第二條 藥舖毒質ノアル物品ヲ賣買
スルニ付キ定メ又ハ定メラレハキ所
ノ特別ノ規則ニ背キテ之ヲ販賣シタ
ル時ハ十日ヨリ五十日ニ至ル罰金ニ

処ス

第三條 藥舖ニ非スニテ前條ニ記載シ
タル物品ヲ販賣シタル者ハ十一日ヨリ
二月ニ至ル輕禁錮十日ヨリ五十日ニ
至ル罰金ニ処ス

第四條 公ノ健康ヲ保ツ為メ規則ヲ以
テ賣買ヲ禁ニ又ハ禁スハキ死ノ食用
物品及ヒ其他ノ物品ヲ販賣シタル

者ハ前条ニ記載ニタル刑ニ依テ処
断ス

才五条 前数条ニ記載ニタル物品ヲ

不正ニ販賣シ因テ人ニ損傷ヲ加ハタ

ル中ハ懈怠ニヨリ人ヲ殺傷シタル刑

ニ依テ処断ス

才六条 此一節ニ記載ニタル未遂犯罪

ハ法例ニ照シテ処断ス

明治三十八年三月十三日装綴
総計 件 紙數 百八十卷 枚

調
主任 米田 富次郎
主任 補 柏原 安之助
助 同 浅井 圖南
同 同

